

○「プランに向け組織のあり方を協議」

(京都府宮津市 金山地域活動 H31第3回)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

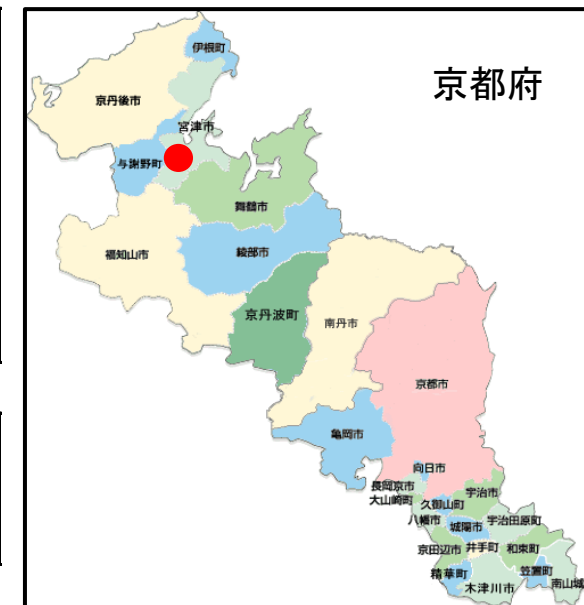
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年11月22日(木) 15:00~17:30
- 場 所: 宮津市役所
- 出席者: プラン推進会議三役、市1人、事務局1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 中山間・多面的事業を実施。農地は一定、集積されているが、高齢化で高い畦の草刈りが困難に
- 小作料が高い。地域における土地利用は、原則、皆で決めることになっているが、実態は相対で押しつけ
- 耕作者は今以上に耕作地を増やすことができない。不作付け地がでると保全管理せざるを得ない



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- プラン検討に伴う組織のあり方について協議
 - ・従来の組織化の検討内容: 感想調整施設の整備(JA跡地利用)
- 意見交換
 - ・現在の主要な耕作者9人。負担を分散しながら地域の農地を耕作
 - ・地域内の人材と機械の有効利用を前提として考えたい
 - ・地域調整組織の検討は、多面的支払や中山間事業を同一組織で実施
- 次回役員会議: アンケートの実施(地主向け、次世代向け) ※現在の農業者を考え、段階的に

4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援